

輸入スタックポリシートの効果確認試験



JA本別町

株式会社 本別町TMRセンター



H30.9.11 試験品展張後バンカーの様子



H30.9.11 展張後シートの様子



H30.9.11 展張作業の様子(慣行品)



慣行品保管時



試験品保管時

試験目的

輸入スタックポリシートの効果確認

試験作物 及び品種

牧草・デントコーン

試験資材 及び数量(規格)

輸入スタックポリシート(0.095mm×15m×50m) 黒 原反12本

慣行資材

国産スタックポリシート(0.095mm×15m×50m)(加工品) 黒

栽培方法

播種日

6月11日

収穫日

7月11日

資材使用期間

7月13日～11月13日

試験区面積

6基

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

試験品は広幅でも巻物で、畳み物を広げる作業がないので、作業時間を数分短縮することができた。

展張作業にかかる人手では変わらないが、慣行品と遜色なく使用することができた。工夫次第では作業人数を減らすことも考えられる。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と比較して差は見られない。今後もシートを開封する際にはサイレージの品質等を確認したい。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

踏みつけてしまった部分が破れてしまうことはあるが、そういった点は慣行品と変わらない。慣行品と違い、繋ぎ目から破れてしまう心配はなかった。また、折り目部分も問題なかった。

(4)促成・抑制効果について

慣行品と変わらない。

(5)保温効果について

慣行品と変わらない。

(6)雑草・病害虫の発生について

慣行品と変わらない。

モニター感想(JA本別町 生産資材課 瀧澤主査)

試験品は巻物になっているため、展張する際に畳み物を広げる作業が必要ないため、作業効率が多少上がったと考えられる。

また、畳み物に比べて梱包が簡易的なので、開封作業が楽にできた。試験品は巻物であるため、積み方の工夫次第では、保管効率を上げられるかもしれない。

慣行品と比較しても、強度の面では遜色なく使用できたと思う。輸入品なので供給面で心配な部分はあるが、現状国産品よりも安価に仕入れることができるので、来季は展張作業・保管の両面で工夫しながら使用したい。

今後の使用について

継続して使用したい。

輸入品でも慣行品と遜色なく使用できたので、価格次第で使用を検討したい。

将来希望する資材について

安価でより強度のあるシートが欲しい。

1 栽培システム

2 施設システム

3 製地システム

4 マルチ

5 不織布

6 畜田資材

7 防虫ネット

8 酪農資材

9 ICT機器

10 その他